

令和7年度学校推薦型選抜（一般推薦）における女子枠の導入について（工学部）

令和5年9月
令和6年3月更新
茨城大学

○令和6年3月公表からの更新箇所を茶色で示しています。

【令和6年3月更新内容】

出願要件で課している「数学」及び「理科」の履修要件を撤廃します。

茨城大学工学部では、令和6年度に実施する令和7年度入学者選抜から学校推薦型選抜の一般推薦において、機械システム工学科、電気電子システム工学科、情報工学科の3学科で計15名の女子枠を設定します。

真にユニバーサルな製品やシステムの企画、設計、開発のためには、多様な視点を持つ技術者の育成が重要です。本学工学部に入学する女子学生にはそういう技術者に育って欲しいと期待しています。

出願要件、選抜方法、配点等については以下のとおりです。なお、本内容は予定であり、変更が生じる可能性があります。最新の内容については、本学ホームページ、学生募集要項等で公表しますので、ご確認ください。

1. 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員 (※1)			
		一 般 推 薦		専門高校 推 薦	
		現行 [R 6]	一般枠 (※2)		
工学部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	1 4	1 4	6	若干名
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	1 1	8	4	若干名
	物 質 科 学 工 学 科	1 0	1 5	/	若干名
	情 報 工 学 科	5	1 0	5	若干名
	都 市 シ ス テ ム 工 学 科	8	8	/	若干名
	計	4 8	5 5	1 5	

(※1) 学校推薦型選抜において入学手続者が募集人員（若干名は除く）に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

(※2) 性別によらず出願できる入試区分を「一般枠」と称する。

(※3) 女性のみが出願できる入試区分を「女子枠」と称する。

2. 出願要件（一般推薦）

学部	学科	出願要件	
工学部	機械システム工学科	一般枠	次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校長が責任を持って推薦できる者 ① 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ② 次のページの別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有する者 ※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※ 女子枠については、上記に該当する女性とします。
	電気電子システム工学科	女子枠	
	情報工学科		

【出願枠の選択】

機械システム工学科、電気電子システム工学科または情報工学科を志願する女性は、出願する枠を以下のの中から選択することができます。

(1) 一般枠

(2) 女子枠

(3) 一般枠と女子枠の併願（※）

※一般枠と女子枠の併願者は、まず「女子枠」で選考を行い、不合格となった場合は、「一般枠」で選考を行います。

<別表>

○工学部の英語資格・検定試験得点換算表

令和4年度(2022年度)以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

得点	CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	-	180以上	328以上	-	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	-	158以上	281以上	-	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	-	135以上	235以上	-	625以上

- (※1) ケンブリッジ英語検定では、「**リンガスキル(4技能CBT)**」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」(本会場実施、準会場実施)に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC (Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ) の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)**。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて、「**My Bestスコア**」は利用できません。
- (※6) TOEIC (L&R/S&W)は、「**公開テスト**」を受験した成績に限ります。
- (※7) TOEIC L&R (990点満点)/TOEIC S&W (400点満点)については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も出願要件を満たしていることとします。

3. 選抜方法（一般推薦）

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、次のとおり行います。

工学部の各学科が課す小論文、面接等の結果を総合して評価します。なお、小論文、面接（※）のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。

また、一般枠と女子枠を併願する者は、女子枠で課す選抜方法等を受験することで、一般枠にも受験したものとみなします。

※女子枠に志願する者は面接（女子枠用）を含みます。

学部	学科	選抜方法等
工学部	機械システム工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接〉 志望理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
		<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接（一般枠と共に）〉 志望理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	電気電子システム工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接（一般枠と共に）〉 志望理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
		<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接（一般枠と共に）〉 志望理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	情報工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接（一般枠と共に）〉 志望理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
		<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学(数学 I, 数学 II, 数学 III, 数学 A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学 B(数列, 統計的な推測), 数学 C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面))と理科(物理基礎, 物理)とします。</p> <p>〈面接（女子枠用）〉 「課題作文（※ 2）」の記載内容に基づく個人面接を 10 分程度で行い、<u>機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学（※ 1）</u>を学ぶことで、自分がどのように社会に貢献していくかについて、論理的に説明できる資質をみます。</p> <p>「課題作文」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※ 3）してください。なお、試験当日は黒板等に板書しても構いませんが、電子機器類の使用は認めません。</p>

- (※1) 出願する学科によって、機械システム工学／電気電子システム工学／情報工学のいずれかに読み替えてください。
- (※2) 面接時の参考資料としますので、以下の要領で課題作文を作成して、出願時に提出してください。
- (1) 身の回りの製品やシステムについて、あなたから見て、こうであれば誰にでも使いやすいユニバーサルな製品・システムになるだろうという提案を300字以内で記入してください。この課題作文は、他の出願書類と一緒に提出してください。
 - (2) 本学所定の様式（学生募集要項を公表時に本学ホームページに掲載予定）を必ず使用してください。
 - (3) 直筆またはPCによる入力のいずれかで作成してください。PCにより作成する場合は10.5ポイント以上の文字で作成してください。
- (※3) 工学部学校推薦型選抜（一般推薦）の面接（女子枠用）で受験者が当日使用できる資料は、出願時に提出した「課題作文」のみとなります。

4. 配点

学部	学科	調査書	推薦書	志望理由書	課題作文	英語資格・検定試験	面接	面接（女子枠用）	小論文	合計
工学部	機械システム工学科・電気電子システム工学科	一般枠	50(*1)	(*2)	(*2)	100	150		300	600
	女子枠		50(*1)	(*2)	(*2)	(*2)	150	100	300	700

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。